

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年1月5日(月)～令和8年1月11日(日)〔令和8年第2週〕の感染症発生状況

第2週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

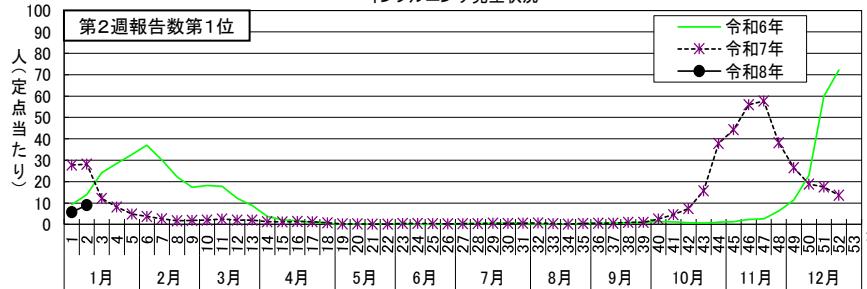
インフルエンザの定点当たり患者報告数は9.03人と前週(5.81人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.57人と前週(1.29人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

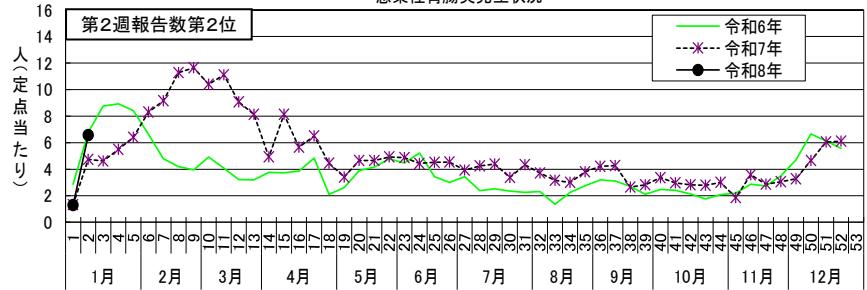
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は1.76人と前週(0.62人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



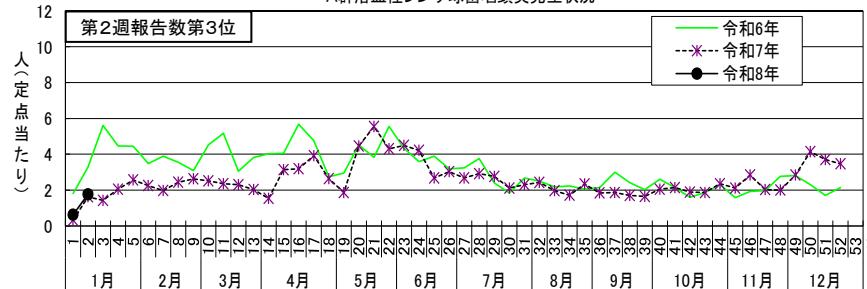
インフルエンザ発生状況



感染性胃腸炎発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況



感染性胃腸炎の感染拡大を防ぎましょう！

感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌等の感染により下痢やおう吐等の消化器症状を呈する疾患で、冬季はノロウイルスを原因とする事例が多くみられます。川崎市における感染性胃腸炎の定点当たり報告数は11月末から増加し、令和8年第2週(1月5日～11日)は6.57人となりました。

感染拡大を防ぐためには、原因となる病原体を含む患者の便やおう吐物を適切に処理することが重要です。特にノロウイルスはアルコール消毒が有効でないため、適切な濃度の塩素消毒液で消毒してください。また、処理を行う際は、手袋やマスク等を着用し、処理後は石けんで手を洗いましょう。

便やおう吐物の処理方法

- ①マスク、使い捨ての手袋を着け、おう吐物が乾燥する前にペーパータオル等で除去する。
- ②ふき取ったおう吐物や手袋などはビニール袋に密閉して廃棄する（できればビニール袋の中で1,000ppmの塩素消毒液に浸す。）
- ③おう吐物の付着していた場所を浸すように塩素消毒液で消毒する。
- ④使い終わった手袋、マスク、②のペーパータオル等を入れた袋を、別のビニール袋に入れて密封する。屋内への拡散防止のため、おう吐物処理が終わってから空気の流れに注意して換気を行う。
- ⑤終わったら石けんを使って丁寧に手を洗う。



塩素消毒液(次亜塩素酸ナトリウム希釀液)の作り方

食器、カーテン等の消毒や拭き取り
(0.02% (200ppm) の塩素消毒液)

製品濃度	次亜塩素酸ナトリウムの量	水の量
12%	5ml	3L
6%	10ml	3L
1%	60ml	3L

おう吐物等の廃棄（袋の中で廃棄物を浸す）
(0.1% (1000ppm) の塩素消毒液)

製品濃度	次亜塩素酸ナトリウムの量	水の量
12%	2.5ml	3L
6%	5.0ml	3L
1%	30.0ml	3L

*おう吐物等の酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生する事がありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。

*次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。